

新年のご挨拶

(社)全国土木施工管理技士会連合会
会長代行 紀陸 富信

新年明けましておめでとうございます。

土木施工管理技士会の会員の皆様方には、平素連合会の活動に対して深いご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、最近の建設事業を取り巻く環境変化は、経済の高度成長期以降今日まで例をみない程激しいものであり、その影響は工事現場にも様々な形で顕在化しております。このため、連合会では平成18年度に実際の現場で働いている会員にアンケート調査を行い、現場の生の声を収集致しました。その結果は、既に国土交通省と連合会の意見交換会や、各ブロックにおける地方整備局・県と技士会の意見交換会において紹介され、問題解決に向けての検討に活用されています。今後も工事現場の改善のために、皆様のご意見や、ご提案を発注者や社会に向けて積極的に伝えていくことが重要でありますので、ご協力をお願い致します。

連合会の主要な事業である継続学習制度（CPDS）については、この1年の間に各地方整備局が総合評価の対象項目にCPDSを加えることとなりました。この結果加入者も現在約60,000名と大幅に増

え、それを受けて一部技士会では会員が増加しております。現場技術者の能力が重要視されるようになり、それが土木施工管理技士の意識向上につながってきたことは歓迎すべきことであり、今後CPDSの充実を図っていきたいと考えております。

また監理技術者講習は、まだ十分な成果を上げていませんが、平成21年度には受講者数がピークになりますので、未実施の技士会には開催のご検討をいただきたくよろしくお願い致します。

「物づくり産業」といわれる建設分野において、土木施工管理技士は現場の第一線に立つ「物づくり」の主役であり、良好な社会資本整備に重要な社会的使命を担っています。当連合会としては各技士会と協力して皆様のためになる活動を展開し、「入会して良かったと思える技士会」になるよう努力して参りますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年が、皆様にとり輝かしい発展の1年となりますことを心より祈念致しまして、年頭のご挨拶といたします。